

11/17教育長に署名提出
合計21,531筆

再編は大事だが 拙速にはしないつもり

11月17日、「統廃合を考える会」は、教育長に署名10,657筆分を提出しました。このうち、約5000筆は「湖北の高校を守る会」が集めたものです。一次分と合わせて21,531筆になりました。次のようなやりとりが行われました。

考える会 「いま、会派や立場を越えて統廃合中止の声が高まっている。11/3に米原で開いたつどいには、県下の地域から265人が参加して、いろんな思いをしゃべった。県会議員も党派を超えてあいさつした。愛荘町の村西町長や長浜の押谷議員もパネリストとして参加した。みんな私たちが思う以上に地域の高校を大事にしている。改めて、地域の高校が地域とつながっていることが分かった。計画を一旦中止して1年間、意見を聴いたらどうか」。

分厚い署名用紙を見ながら、



教育長 「地域から高校をこれだけ支援していただけることは非常にありがたい。再編そのものは大事なことだと思っているが、拙速にはしないつもりだ」

現在は、議会向けの新しい署名・「統廃・再編計画を一旦中止し県民合意を踏まえることを求める請願署名」を集めています。この請願は、12月の県議会で討論され採決されます。県議会も県会議員も、その動向が注目されます。一気に署名を集めましょう。

多くの高校生が「これ知ってるで」

八幡商業校門前、8人がチラシ配布

11月18日の早朝、「統廃合を考える会」は、八幡商業高校の校門前でチラシを配布しました。参加者は8人(高教組2人、全教1人、地域住民5人)でした。ほぼ全員の生徒がチラシを受けとり、目を通します。その瞬間から会話が始まりました。

「これ知ってるで」
「これ見たわ。うちにも沢山あった」
ある生徒が「10校もなくなるんやて」というと、すかさず隣の生徒が「うち知ってるわ。八商も対象になってるんやて」。

これまでと比べて「統廃合」を知っている高校生がずっと多い。この高校生の反応は、短期間のうちに「統廃合問題」が県民の間で急速に関心事になってきている事を示しています。

湖東では、11月中に、八幡工業、八日市、八日市南、日野、能登川、八幡の各校の校門前でチラシを配布します。



ストップ高校統廃合 速報第37号
2010/11/18 県立高校の統廃合を考える会
077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)